

初公開資料でたどる

10th
さかい利晶の杜
Sakai Plaza of Rikyu and Akiko

企
画
展

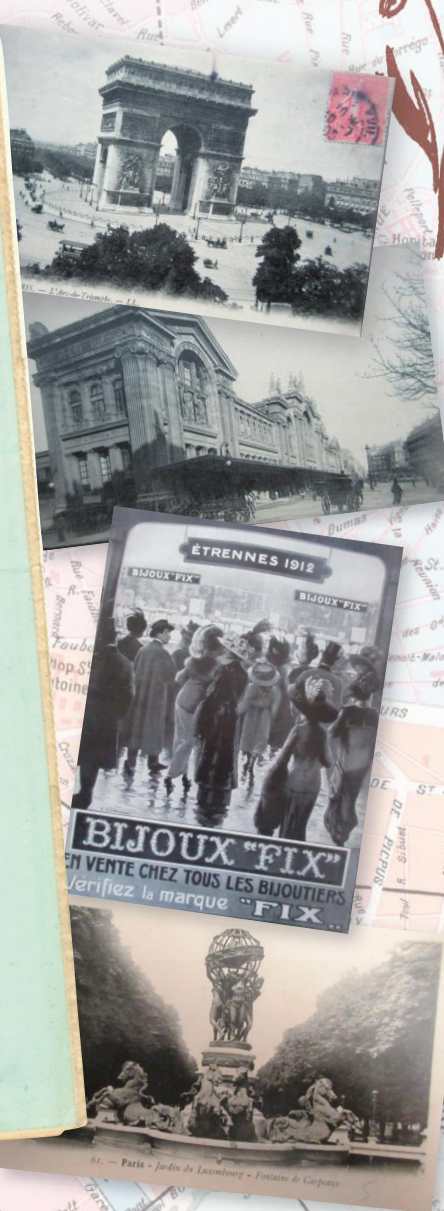
パリより From Paris.

— 与謝野晶子と寛の渡欧体験 —

Akiko and Hiroshi YOSANO's Explorations of Europe



フランスの雑誌「ザナル」の表紙（九二年九月号）を飾る与謝野晶子 個人蔵



令和 7 年

2025

7月26日(土) — 9月7日(日)

上から、絵はがき「凱旋門」、「パリの北駅」
広告「宝石店FIX」、絵はがき「リュクサンブール公園」（すべて個人蔵）

休館日：8月19日（火） 会場：さかい利晶の杜 企画展示室

時 間：9:00 ～ 18:00（最終入館17:30）

観覧料：一般300円、高校生200円、中学生以下無料

「与謝野晶子記念館」「千利休茶の湯館」の観覧券でご覧いただけます。

障害のある方と介助者、堺市内在住の65歳以上の方は無料

主 催：堺市 協力：与謝野晶子倶楽部

大阪・関西万博開催記念・さかい利晶の杜開館10周年記念



OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO2025

©Expo 2025

SAKAI
RISHO
NO
MORI

さかい利晶の杜

Sakai Plaza of Rikyu and Akiko

千利休茶の湯館

茶の湯体験施設

与謝野晶子記念館

観光案内展示室

パリより

— 与謝野晶子と寛の渡欧体験 —

Akiko and Hiroshi YOSANO's Explorations of Europe

与謝野晶子は、明治45年(1912)5月、先に渡欧していた夫の寛を追ってパリに向かいます。そして二人は約4か月間、パリを拠点に、イギリス、ドイツ、オーストリア、オランダなどを訪れ、さまざまな芸術文化に触れて感銘を受けます。また、晶子は複数のメディアから取材を受け、その特集記事が現地の雑誌に掲載されるなどの貴重な経験をしています。

本展では、晶子と寛の人生を大きく変えた渡欧体験を、共著である紀行文集『巴里より』や寛が書いた「渡欧日記」をはじめ、晶子の創作ノートや交流をもった人々の書簡、当時の雑誌や絵はがきなど、思い出の品々を通してたどります。なかでも、寛の「渡欧日記」やフランスの雑誌掲載用に撮影された晶子と寛の肖像写真、パリで面会した彫刻家のオーギュスト・ロダンが寛に送った書簡などの本展初公開となる資料にご注目ください。



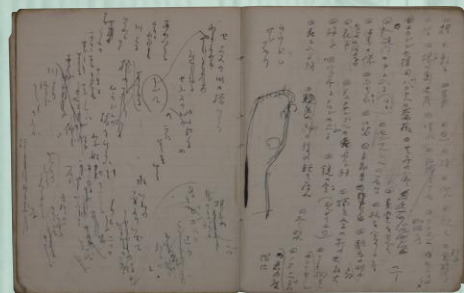
与謝野寛筆「渡欧日記」表紙
与謝野光氏旧蔵



雑誌『ル・ミロワール』掲載用に
撮影された与謝野寛と晶子
個人蔵



雑誌『レ・ザナール』表紙と
掲載用に撮影された写真
個人蔵

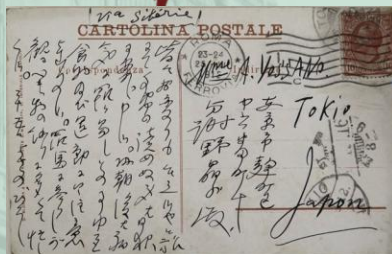


晶子が渡欧時に持参した創作ノート 与謝野光氏旧蔵

背景のコクリコの花は与謝野晶子詩歌集『夏より秋へ』の挿絵より
(藤島武二装幀、大正3年(1914)) 堺市博物館蔵



晶子・寛紀行文集『巴里より』初版
(大正3年(1914年)、徳永柳洲装幀)
堺市博物館蔵



与謝野寛が晶子に宛てた絵葉書(1912年11月25日消印) 与謝野光氏旧蔵



EVENT 関連事業

記念対談

「与謝野晶子と寛が歩いたパリ」

日 時：7月27日(日) 14:00 ~ 15:30

講 師：神野藤昭夫氏(跡見学園女子大学名誉教授)
菊地英之氏(日仏文化交流研究者、資料収集家)

会 場：さかい利晶の杜 講座室

定 員：40名(先着順)

参加費：無料

申込み：7月1日(火) 9:00より受付開始

学芸員による展示解説

日 時：8月9日(土)、8月31日(日)

各日13:30 ~ (30分程度)

会 場：さかい利晶の杜 企画展示室

参加費：無料(展示観覧券が必要)

ワークショップ

「ミニ百首屏風をつくってみよう」

日 時：8月17日(日) ①10:30 ~ ②14:00 ~

講 師：さかい利晶の杜学芸員

会 場：さかい利晶の杜 講座室

定 員：各回15名(先着順、未就学児は同伴者必要)

参加費：無料

申込み：8月1日(金) 9:00より受付開始

お電話または予約サイト(HPより)にて
お申込みください。

電話：072-260-4386

